

甲 粗製ノモノ 每百斤

〇、〇三八

乙 精製ノモノ 同

〇、五四四

本令ハ發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

即チ非常特別稅法ニ依リ増徴ノ結果鹽ノ輸入稅ハ左ノ如ク改定セラレ明治三十七年七月一日ヨリ施行セラレタリ

粗製鹽 每百斤

十二錢

精製鹽 同

二圓三十一錢二厘

第二款 鹽消費稅ノ立案

明治三十六年露國ニ對シ交戰ヲ見ルニ至ルヤ軍費ノ支出ヲ要シ明治三十七年度ニ於テ臨時軍事費三億八千萬圓及各省臨時事件費四千萬圓ヲ豫算シ之カ財源トシテハ先ツ一般歲計ニ緊縮ヲ加ヘ其ノ剩餘ヲ以テ之ニ充ツルノ外一時借入金ヲ爲シ國庫債券ヲ發行シ特別會計ニ屬スル資金ヲ繰替ヘ使用スルコトトシ尙其ノ一部ヲ租稅ニ求ムルコト財政ノ料理竝民間經濟ノ調和ニ於テ極メテ緊切ナリト認メ地租其ノ他諸稅ニ對シ増稅ヲ爲シ鹽、毛織物、石油及絹布等ニ對シ新稅ヲ起シ且煙草製造專賣ヲ實施スルノ計畫ヲ立テ歲計剩餘四千七百萬圓、公債國庫債券及一時借入金二億八千萬圓、特別會計資金繰替二千五百萬圓ト増稅收入六千八百萬圓トヲ以テ之ニ充當スルコトトシ明治三十七年三月第二十帝國議會ノ協贊ヲ求メタリ

右増稅收入六千八百萬圓中ニハ鹽ニ對シ新ニ消費稅ヲ課スルコトトナシ消費稅額二百八十三萬六千七百九十一圓及之ニ伴フ輸入稅増徴額二萬六千六百一圓ヲ計入シタリ而シテ其ノ施行ニ伴フ徵稅費ハ三十二萬七千三百三圓ヲ豫算セリ此ノ消費稅額ハ内地鹽ニ在リテハ每一石六十錢外

國鹽ニ在リテハ每百斤三十六錢ノ課稅ヲ爲スモノトシテ算定シタルモノニシテ左ノ如シ
内地鹽

明治二十六年以降十箇年產出平均數量

六、二一八、一八七石

明治三十一年以降五箇年臺灣移入鹽平均數量

一四一、七六八

計

六、三五九、九五五

明治二十六年以降十箇年外國輸出鹽平均數量

一八三、六五六

製造原料等消費數量

一、三四七、〇九八

計

一、五三〇、七五四

差引内地消費高

四、八二九、二〇一

課稅ノ爲メ減少見込高(消費高)

一四四、八七六

差引課稅數量

四、六八四、三二五

此ノ稅額

二、八一〇、五九五円

外國鹽

明治三十一年以降五箇年外國輸入鹽平均數量

一七、〇六七、〇二二斤

精製

五、四九四、九四四

課稅ノ爲メ減少見込高(輸入高)

一、四、五〇六、九六八

粗製

四、六、七〇三

此ノ稅額

五、二、二二五円

精製

一、六、一六八

右六箇月分稅額

二、六、一九六

合計

稅額

二、八三六、七九一^円

鹽ニ對スル消費稅及輸入稅ノ増徴ハ非常特別稅法ヲ以テ第二十帝國議會ニ提出シタリ其ノ法案左ノ如シ

非常特別稅法案

第一條 臨時事件ニ因リ生シタル經費ヲ支辨スル爲本法ニ依リ地租營業稅所得稅酒稅砂糖消

費稅醬油稅登錄稅取引所稅狩獵免許稅鑛區稅及各種ノ輸入稅ヲ増徴シ鹽毛織物石油又絹布

ニ消費稅ヲ課シ民事訴訟用印紙ヲ増貼セシム

第二條 地租營業稅所得稅砂糖消費稅醬油稅登錄稅取引所稅狩獵免許稅鑛區稅及糖菓類食鹽

衣服及附屬品石油砂糖糖蜜糖水絹布類酒類煙草類ノ輸入稅ハ關係法規ノ定メタル稅額ノ外

左ノ割合ノ稅額ヲ増徴ス

一、地租

市街宅地

地價百分ノ五、五

郡村宅地

地價百分ノ三、五

其ノ他ノ土地

地價百分ノ二、五

二、營業稅

營業稅法ニ依ル稅額十分ノ七

三、所得稅

第一種及第三種所得

所得稅法ニ依ル稅額十分ノ七

四、酒稅

酒造稅法ニ依ル酒類

第二章 專賣法ノ制定

第一種

一石ニ付金五十錢

第二種

一石ニ付金五十錢

第三種

一石ニ付酒精分一度毎ニ金二錢五厘

麥酒

一石ニ付金五十錢

酒精又ハ酒精含有飲料(原容量百分中純酒精ノ容量二十ヲ超ユルモノ)

一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量

一箇毎ニ金二錢五厘

沖繩縣酒類出港稅

沖繩縣酒類出港稅則第一條第一項ニ依リ課稅スヘキ酒類

一石ニ付金五十錢

同第二項ニ依リ課稅スヘキ酒類

一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量

一箇毎ニ金二錢五厘

五砂糖消費稅

第一種

百斤ニ付金一圓

第二種

百斤ニ付金一圓四十錢

第三種

百斤ニ付金三圓八十錢

第四種

百斤ニ付金四圓二十錢

六醬油稅

醬油稅則第二條本文ニ依ル場合

醬油

諸味一石ニ付金五十錢

溜

製成一石ニ付金五十錢

醬油稅則第二條ニ依ル場合

醬油

溜

諸味一石ニ付金二十五錢
製成一石ニ付金二十五錢

七、登錄稅

不動産ニ關スル登記

法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格千分ノ三

法定ノ家督相續以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所得權ノ取得

不動産價格千分ノ五

遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格千分ノ十

其ノ他ノ原因ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格千分ノ五

從來保有セル所有權ノ保存

不動産價格千分ノ三

華族世襲財產ノ創設

不動産價格千分ノ五

船舶ニ關スル登記

法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格千分ノ二

法定ノ家督相續以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格千分ノ五

遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格千分ノ二十

其ノ他ノ原因ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格千分ノ五

從來保有セル所有權ノ保存

船舶價格千分ノ二

登錄稅法第六條及第六條ノ二ニ依ル登錄稅

第二章 專賣法ノ制定

課税標準ノ千分比例ヲ以テ税率ヲ定メタルモノ

課税標準千分ノ一

一箇所毎ニ又ハ一件毎ニ税額ヲ定メタルモノ

税額金十圓ナルトキ

金五圓

税額金五圓ナルトキ

金二圓

税額金三圓ナルトキ

金二圓

税額金二圓ナルトキ

金一圓

税額金一圓ナルトキ

金五十錢

税額金五十錢ナルトキ

金二十錢

鑛業ニ關スル登録

試掘

金二十五圓

採掘

金五十圓

試掘増區及増減區ニ係ル訂正

金十圓

採掘増區及増減區ニ係ル訂正

金二十五圓

買受讓受

金二十五圓

八、取引所税

商品有價證券

國債及地方債證券

九、狩獵免許税

一等

金十圓

賣買各約定代金高萬分ノ三
同 一 萬分ノ二

二等

三等

十、鑛區稅

十一、輸入稅

糖菓類

甲 菓子

乙 砂糖、糖蜜若ハ糖水ヲ以テ貯藏シタルモノ

食鹽

甲 粗製ノモノ

乙 精製ノモノ

關稅定率法附屬輸入稅表第三類中ニ掲クル物品ニシテ絹製及絹入ノモノ

從價二割

酒精(アルコール)

各種變性アルコール

各種酒精劑(阿片丁幾ヲ除ク)

石油

砂糖(和蘭標本色相第十五號未滿)

糖蜜

糖水

金五圓

金一圓

鑛區一千坪毎ニ一箇年金十錢

從價一割

從價五分

每百斤金四十一錢八厘

每百斤金七十三錢二厘

每リートル金三錢

每リートル金三錢

每リートル金三錢

從價二割

從價二割五分

從價二割

從價二割

支那縮緬

從價一割

支那絹紬

從價一割

支那絹縐子

從價一割

支那絹紋縐子

從價一割

絹綿縐子

從價一割

刺繡絹布及刺繡絹綿布

從價一割

其ノ他各種ノ絹布(純絹ト他物ヲ交ヘタルトヲ別マス但シ絹ノ重量超過スルモノ)

從價一割

諸製造煙草

從價十割

支那酒(釀造シタルモノ)

從價二割

清酒

從價二割

各種ノ酒類ニシテ原容量百分中純酒精ノ容量五十以上ナルトキ

純酒精ノ容量一箇ヲ増ス毎二十リート

ルニ付金五厘

第三條

鹽、毛織物、石油及絹布ニハ左ノ割合ニ依リ消費稅ヲ課ス

一 鹽

一石ニ付金六十錢又ハ百斤ニ付金三十

六錢

二 毛織物

價格百分ノ十五

三 石油

甲 罐入ノモノ

毎ガルロン金三錢二厘

乙 罐入ニアラサルモノ

毎ガルロン金二錢

四 絹布

價格百分ノ十五

前項ニ於テ毛織物ト稱スルハ毛ノ分量ニ拘ラス總テ毛製毛絹製又ハ毛綿製又ハ毛綿製ノ織物ヲ謂ヒ絹布ト稱スルハ材料ノ二分ノ一以上蠶絲又ハ野蠶絲ヲ用井タル織物ヲ謂フ

第四條 訴狀其ノ他民事訴訟ニ關スル申立又ハ申請ノ書面ニハ民事訴訟用印紙法ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外左ノ印紙ヲ増貼スヘシ

一 第一審ノ訴狀

財産權上ノ請求ニ係ルモノ

訴訟物ノ價額金五圓マテ

金五錢

同 十圓マテ

金十錢

同 二十圓マテ

金二十錢

同 五十圓マテ

金三十錢

同 七十五圓マテ

金三十錢

同 百圓マテ

金五十錢

同 二百五十圓マテ

金五十錢

同 五百圓マテ

金二圓

同 七百五十圓マテ

金二圓

同 千圓マテ

金三圓

同 二千五百圓マテ

金五圓

同 五千圓マテ

金五圓

同 五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ

金一圓

財産權上ノ請求ニ非サルモノ

金五十錢

二 控訴狀

第一審ノ訴狀ニ増貼スヘキ印紙金額ノ半額

三 上告狀

第一審ノ訴狀ニ増貼スヘキ印紙金額ト同額

四 支拂命令ノ申請

訴訟物ノ價額十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ民事訴訟用印紙法及本法ニ依リ第一審ノ訴

狀ニ貼用スヘキ印紙金額ノ半額ト金二十錢トノ差額

前項ノ差額ハ民事訴訟法第三百九十條ノ規定ニ依リ訴カ區裁判所ニ繫屬スル場合又ハ

第三百九十一條第二項ノ規定ニ依リ地方裁判所ニ訴ヲ起ス場合ニ於テ訴訟ニ付貼用ス

ヘキ印紙ノ額ニ之ヲ通算スヘシ

五 其ノ他ノ申立又ハ申請

期日ノ變更辯論ノ延期又ハ辯論期日ノ指定ノ申立

中斷又ハ中止シタル訴訟手續ノ受繼ノ申立

從參加ノ申請

忌避ノ申請

和解ノ申立

費用額確定ノ申請

假執行ノ宣言ヲ求ムル申立

強制執行ノ停止又ハ續行若ハ執行處分取消ノ申立

配當要求

家資分散ノ申立又ハ家資分散者ノ復權ノ申立

強制競賣又ハ強制管理ノ申立

債權又ハ他ノ財産權差押ノ申請

民事訴訟法第七百三十二條乃至七百三十四條ノ申立

證據調ノ申立

判決ノ送達ヲ求ムル申立

執行力アル正本ヲ求ムル申立

但シ此ノ正本數通ヲ求ムルトキハ每一通ニ付假差

押又ハ假處分ノ申請

抗告

故障

答辯書其ノ他特ニ掲ケサル申立又ハ申請

左ニ掲ケル申立又ハ申請ノ書面ニハ民事訴訟用印紙法ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外金八十

錢ノ印紙ヲ増貼スヘシ

一 裁判上代位ノ申請

二 競賣法ニ依ル競賣ノ申立

金八十錢

金五十錢

金五錢

第二章 專賣法ノ制定

三 裁判上ノ代位競賣法ニ依ル競賣又ハ不動産登記ニ關スル抗告

訴訟ノ價額又ハ請求ノ價額金二十圓以下ナルトキハ第一項第五號ノ規定ヲ適用セス

本條第一項ノ規定ハ再審ヲ求ムルノ訴狀及原狀回復ノ申立ニ之ヲ準用ス

第五條 商事非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ノ書面ニハ商事非訟事件印紙法ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外左ノ印紙ヲ増貼スヘシ

一 左ニ掲クル申立

抗告

債權者ヨリ爲ス破産宣告ノ申立

支拂猶豫ノ申立

二 其ノ他ノ申立又ハ申請

破産手續ニ付テハ商事非訟事件印紙法第四條ニ依リ貼用スヘキ印紙ノ外左ノ印紙ヲ増貼ス

ヘシ

財團ノ價格金五圓マテ 金 十 錢

同 十圓マテ 金 二十 錢

同 二十圓マテ 金 四十 錢

同 五十圓マテ 金 六十 錢

同 七十五圓マテ 金 六十 錢

同 百圓マテ 金 一 圓

同 二百五十圓マテ 金 一 圓

同 五百圓マテ 金 四 圓

金 五十 錢

金 五 錢

同	七百五十圓マテ	金四圓
同	千圓マテ	金六圓
同	二千五百圓マテ	金十圓
同	五千圓マテ	金十圓
同	五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ	金二圓

前項ノ規定ハ商事非訟事件印紙法第六條及第七條ノ場合ニ之ヲ準用ス
 商事非訟事件印紙法第五條ノ規定ハ本條第二項ノ規定ニ依リ印紙ヲ増貼スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 左ニ掲クルモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ消費稅ヲ免除ス

- 一 外國ニ輸出スル鹽、毛織物、石油又ハ絹布
 - 二 製造者ノ自用ニ供スル鹽、毛織物、石油又ハ絹布
 - 三 命令ヲ以テ定メタル業ニ使用スル鹽
 - 四 魚類鹽藏用ニ供スル鹽
 - 五 農業肥料用ニ供スル鹽
 - 六 牧畜飼料用ニ供スル鹽
- 第七條 鹽、毛織物又ハ石油ノ消費稅ハ製造場、稅關又ハ保稅倉庫ヨリ鹽、毛織物又ハ石油ヲ引取ル時引取人ヨリ之ヲ徵收ス
- 絹布消費稅ハ前月中ノ絹布小賣金額ニ依リ毎月絹布販賣者ヨリ之ヲ徵收ス
- 第八條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鹽、毛織物、石油及絹布消費稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第九條 製造場税關又ハ保稅倉庫ヨリ毛織物ヲ引取ル者ハ引取ノ際其ノ價格ヲ政府ニ申告スヘシ

絹布販賣者ハ毎月十五日マテニ前月中ノ絹布小賣金額ヲ政府ニ申告スヘシ

前二項ノ申告ヲ爲サス又ハ政府ニ於テ其ノ申告シタル價格又ハ金額ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ毛織物ノ價格ヲ評定シ又ハ絹布小賣金額ヲ算定ス

毛織物引取人ハ絹布販賣者前項ノ評定價格又ハ算定價格ニ不服ナルトキハ毛織物引取人ハ即時絹布販賣者ハ算定金額ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ七日以内ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
異議ノ申立アリタルトキハ毛織物ニ付テハ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ絹布ニ付テハ命令ヲ以テ定メタル審査委員ノ審査ニ付シ其ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ係ル價額又ハ金額ト第三項ノ評定價格又ハ算定金額トノ差カ第三項ノ評定價格又ハ算定金額ト前項ノ決定價格又ハ決定金額トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

異議ノ申立アルモ政府ハ絹布消費稅ノ徵收ヲ猶豫セス

第十條 第六條又ハ第八條ニ該當スル場合ノ外消費稅納付前ニ於テハ製造場税關又ハ保稅倉庫ヨリ鹽、毛織物又ハ石油ヲ引取ルコトヲ得ス

第十一條 鹽、毛織物又ハ石油製造者ハ第六條又ハ第八條ニ該當スル場合ノ外消費稅納付前ニ於テ鹽、毛織物又ハ石油ヲ他ニ引渡シ又ハ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第十二條 自用ニ供スルモノヲ除ク外鹽、毛織物、石油又ハ絹布ヲ製造セムトスル者ハ政府ニ申告スヘシ店鋪ヲ有スルト否トニ拘ラス絹布ノ販賣ヲ爲サムトスル者ハ亦同シ

第十三條 鹽、毛織物、石油又ハ絹布製造者ハ其ノ製造場ニ於テ鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ賣買業ヲ兼營スルコトヲ得ス

第十四條 鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ製造者及販賣者ハ帳簿ヲ備ヘ鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ製造出入ヲ詳細明瞭ニ記載スヘシ

絹布販賣者ハ絹布ノ卸賣及小賣ヲ區別シ別箇ノ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第十五條 收稅官吏ハ鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ製造場又ハ販賣場ニ立入り鹽、毛織物、石油又ハ絹布、其ノ原料、器具、器械、建物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得

收稅官吏ハ監督上必要ト認ムルトキハ前項ノ物件ニ封印ヲ施スコトヲ得

第十六條 收稅官吏ハ運搬中ニ在ル鹽、毛織物、石油又ハ絹布ヲ検査シ其ノ出所及到着先ヲ質問スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ監督上必要ト認メタルトキハ收稅官吏ハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ消費税五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ其ノ税金ヲ徵收ス但シ罰金額ハ十圓ヲ下ルコトヲ得ス

一 自用ニ供スル場合ノ外政府ニ申告セスシテ鹽、毛織物、石油又ハ絹布ヲ製造シタルトキ

二 政府ニ申告セスシテ絹布ノ販賣ヲ爲シタルトキ

三 擔保物ヲ提供セスシテ消費税ノ徵收ヲ猶豫セラレタル場合ニ於テ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ引取り又ハ移出シタル鹽、毛織物又ハ石油ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキ

四 第十條又ハ第十一條ノ禁令ヲ犯シタルトキ

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ製造者又ハ販賣者、鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ製造出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ怠リタルトキ

二 收稅官吏其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ其ノ執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキ但シ刑法ニ正條アル場合ハ刑法ニ依ル

絹布販賣者帳簿ノ記載ヲ詐リ又ハ之ヲ怠リ因テ逋稅シタルトキハ前條ニ依リテ處罰ス

第十九條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第二十條 鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ製造者販賣者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ營業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 鹽、毛織物、石油又ハ絹布ノ製造者又ハ販賣者ノ代理人、戶主、家族同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第二十二條 臺灣ヨリ移入シタル鹽ニハ本法ニ準シテ消費稅ヲ課ス

命令ヲ以テ指定スル港灣ニ由ルニ非サレハ臺灣ヨリ移入シタル鹽ヲ陸揚スルコトヲ得ス

臺灣ヨリ鹽ヲ移入シタルトキハ陸揚前政府ニ申告スヘシ

消費稅ハ鹽陸揚ノ時之ヲ徵收ス

第二項又ハ第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ消費稅五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ其ノ税金ヲ徵收ス但シ罰金額ハ十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第二十三條 北海道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ左ノ制限以内ノ地租附加税又ハ段別割ヲ課スルノ外土地ニ對シテ課税スルコトヲ得ス

一 北海道府縣、北海道ノ區、一級町村及二級町村、沖繩縣ノ區及間切島

附加税ノミヲ課スルトキ 地租十分ノ五

段別割ノミヲ課スルトキ 一段ニ付平均金四十錢

附加税及段別割ヲ併課スル場合ニ於テ段別ノ總額ハ總段別地租額ノ十分ノ五ト附加税

總額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

二 其ノ他ノ公共團體

附加税ノミヲ課スルトキ 地租十分ノ二

段別割ノミヲ課スルトキ 一段ニ付平均金四十錢

附加税及段別ヲ併課スル場合ニ於テ段別割ノ總額ハ總段別地租額ノ十分ノ三ト附加税

總額トノ差額ヲ超ユルコトヲ得ス

北海道府縣以外ノ公共團體ハ營業税又ハ所得税百分ノ三十ヲ超過スル附加税ヲ課スルコト

ヲ得ス

第二條ニ依ル地租、營業税及所得税ノ増徴額ニ對シテハ附加税ヲ課スルコトヲ得ス

府縣費ヲ市町村ニ分賦シタル場合ニ於テハ其ノ金額以内ニ限リ市町村ハ内務大臣ノ

許可ヲ受ケ第一項又ハ第二項ノ制限ヲ超過シテ附加税又ハ段別税ヲ課シ若ハ附加税及段別

割ヲ併課スルコトヲ得

明治三十六年度以前ニ起シタル負債ノ元金償還及利子仕拂ノ爲若ハ非常ノ災害ニ因リ復舊

工事ノ爲費用ヲ要シ又ハ其ノ費用ノ分賦ヲ受ケタル場合ニ於テ特ニ内務大臣ノ許可

ヲ受ケタルトキハ第一項又ハ第二項ノ制限ヲ超過シテ附加税又ハ段別割ヲ課シ若ハ附加税及段別割ヲ併課スルコトヲ得

北海道ノ宅地及海産干場ニ付テハ特ニ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受クルトキハ第一項ノ制限ヲ超過シテ附加税又ハ段別割ヲ課シ若ハ附加税及段別割ヲ併課スルコトヲ得

第一項及第二項ノ制限ハ特ニ賦課率ヲ定メタル特別法令ノ適用ヲ妨ケス
附 則

第二十四條 本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ輸入税ニ關シテハ本法發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

地租、營業税、所得税ニ關シテハ明治三十七年分ヨリ本法ヲ適用ス

第二十三條ノ課税制限ハ明治三十七年度ヨリ之ヲ適用ス

北海道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ノ税目又ハ税率ニシテ本法ノ規定ニ抵觸スルモノハ其ノ抵觸ノ部分ニ限り其ノ效力ヲ失フ

第二十五條 自用ニ供スルモノヲ除ク外本法施行前ヨリ鹽、毛織物、石油又ハ絹布ヲ製造シ本法施行後引續キ之ヲ製造セムトスル者ハ本法施行後一箇月以内ニ本法ニ依リ政府ニ申告スヘシ店舗ヲ有スルト否トヲ問ハス本法施行前ヨリ絹布ノ販賣ヲ爲シ本法施行後引續キ之ヲ販賣セムトスル者亦同シ

前項ノ期間内ハ従前ノ製造又ハ販賣ヲ繼續スルコトヲ得

第二十六條 第一種及第二種砂糖、石油及外國ヨリ輸入スル鹽ニ付テハ本法施行後六箇月ヲ經過シタルトキハ本法ニ依ル消費税ヲ課セス

右法案ニ依レハ鹽ニ對スル消費税ハ其ノ税率内地鹽及臺灣鹽ニ在リテハ每一百六十錢、外國鹽ニ

在リテハ每百斤三十六錢ト爲シ製造場税關又ハ保税倉庫ヨリ引取ル時引取人ヨリ之ヲ徵收スル
モノトシ臺灣鹽ニ在リテハ特ニ指定ノ港灣ニ移入シ陸揚ノ時ニ於テ徵收スルモノト爲セリ而シ
テ其ノ徵收ハ命令ヲ以テ猶豫ヲ爲シ得ルノ餘地ヲ存シ且外國ニ輸出スル鹽製造者ノ自用ニ供ス
ル鹽命令ヲ以テ定メタル業ニ使用スル鹽魚類鹽藏用ニ供スル鹽農業肥料用ニ供スル鹽牧畜飼料
ニ供スル鹽等ニ付テハ消費税ヲ免除スルコトト爲シタリ鹽ニ對スル輸入税ニ在リテハ現在每百
斤粗製八錢二厘精製一圓七十六錢八厘ナルニ更ニ粗製ノモノニ對シ每百斤四十一錢八厘精製ノ
モノニ對シ七十三錢二厘ヲ增徴スルモノト爲シ發布後六箇月ヲ經テ施行スルコトト爲シタリ
非常特別税法案カ衆議院ニ於ケル特別委員會ノ議ニ上ルヤ委員ノ一人ハ鹽消費税ノ削除ヲ主張
シ戰時ニ於テ殊ニ細民ニ及ホスヘキ負擔ヲ爲サシメムトスルノ不可ナルヲ論シ他ノ委員ハ寧ロ
專賣ト爲スヲ可トシ政府ノ所見ヲ質問シタリシヲ以テ主税局長ハ今日ノ急務ハ速ニ財源ヲ求ム
ルニ在ルコトヲ述ヘ專賣ト爲サムニハ直ニ收入ヲ得ルコト難ク施行準備ニモ相當時日ヲ要スヘ
キニ依リ先以テ消費税ヲ課セムトスル所以ナルコトヲ説明シタリ然レトモ採決ニ及ヒ竟ニ削除
ニ決スルニ至レリ尋テ本案ノ本議ニ上ルヤ法案特別委員長ハ委員會ノ經過ヲ述ヘ鹽ハ政府ニ於
テ專賣ト爲サムトスル意向アリテ差向課税セムトスルモノナルモ其ノ方法未タ熟セス完全スル
ニ至ラサルニ依リ之ヲ削除スルニ決シタル旨ヲ報告シ別ニ異議ナク削除ニ決定シタリ尋テ該法
案ノ貴族院ニ回付セラレルヤ其ノ特別委員會ニテハ衆議院ノ修正ニ對スル説明ヲ求ムルアリシ
ニ依リ主税局長ハ鹽消費税ハ新ナル課税ニシテ其ノ關係スルところ多ク急卒ノ間ニ之カ審議ノ
調熟ヲ見ルコト難キモノアリシト且ハ税法ニ次クニ專賣法ヲ以テスル目的ヲ持セルモノナルニ
依リ他ニ適當ノ歳入ヲ得ルニ於テハ急ヲ要スル今日ニ於テ強テ之カ施行ヲ圖ルノ要ナキモノト
認メタル旨ヲ説明シタルニ委員ノ一人ハ鹽ハ專賣ト爲スニ非サレハ到底改良ヲ期スヘカラス若

シ民業ニ委シテ放任セムカ我國ノ鹽業ハ恐ク漸次衰滅スルニ至ラム目下鹽田面積七千五百町步ノ廣キニ互リ之カ開墾ハ容易ノ業ニ非スシテ舊藩時代非常ノ保護ヲ承ケ今日ヲ成セルモノナリ然ルニ今日ニ於テ何等保護ノ途ヲ開クニ非スムハ全ク荒廢ニ陥ルノ虞ナシトセス製鹽業者中專賣問題ニ對シ當初聊疑惑ヲ抱クモノアリシモ今ヤ舉テ之ヲ希望スルニ至レリ唯鹽問屋又ハ鹽取引所等ニ在リテハ其ノ營業ニ影響スル爲メ反對ニ出ツヘキモノアルハ蓋シ免レサルヘシ鹽ノ品質ノ如キ外國鹽ハ鹽化曹達量カ百分中九十四ニ上レルニ内地鹽ハ僅ニ百分中七十四位ニ過キスシテ我國ノ如ク粗惡鹽ヲ使用スルモノナシ其ノ改良ニ在リテモ政府ノ保護ニ賴ラスムハ到底之ヲ期シ難シ要スルニ專賣ハ政府ノ收入トナルト同時ニ之ニ依リテ鹽業ノ改良ヲ期シタキ希望ヲ述ヘ衆議院ノ削除ハ政府ニ於テ同意ナリヤ次期ノ議會ニハ專賣法案ヲ提出スヘキヤノ質問アリ大藏大臣ハ之ニ應シ戰時ニ於ケル財源ヲ求ムルニ際シテハ議論アルモノハ暫ク之ヲ措キ決定スルノ要アルニ依リ衆議院ノ削除ニハ同意スヘク而シテ政府ハ專賣法提出ノ意向アル旨ヲ明言シタリ次テ委員ノ一人ハ衆議院ノ修正ニ依レハ豫定ノ收入ニ不足ヲ生スヘク之カ補充ハ如何ニスヘキヤノ質問アリ主稅局長ハ鹽消費稅削除ノ結果二百十八萬三千餘圓之ニ伴フ關稅ノ減收二萬六千餘圓其ノ他諸稅ニ付修正削除ノ結果合計六百餘萬圓ノ收入減額トナルヘキ旨ヲ說明シ主計局長ハ其ノ減額ハ特別會計ノ資金五百萬圓ヲ繰入レ尙一般經費ノ節約ヲ以テ之ヲ補充スル豫定ナル旨ヲ說明シタリ斯クシテ非常特別稅法案ハ衆議院ノ修正通貴族院ニ於テモ可決議了シタリ」

斯クシテ增稅案中鹽ニ對スル消費稅ハ帝國議會ニ於テ削除ニ決シタルヲ以テ其ノ結果鹽消費稅額二百八十三萬六千七百九十一圓鹽輸入稅額二萬九千三百九十五圓計二百八十六萬六千八百八十六圓ヲ減シ現行稅率ニ依ル輸入稅額二千七百九十四圓ヲ差引クトキハ結局二百八十六萬三千三百九十二圓ノ歲入減ヲ來スコトトナリ他ノ諸稅ニ對スル修正減額ヲ合セテ增稅額ニ於テ六百餘

萬圓ヲ減スルニ至リタルモ特別會計資金ノ繰替及一般行政費ノ節約等ヨリ補填スルコトニ決定シタリ

當時政府ニ於テハ鹽ニ依リテ財源ヲ得ムトセハ課税ノ方法ニ依ラムヨリハ寧ろ專賣ノ方法ニ依ルヲ適當ト認メタルモノナルモ專賣ヲ實行スルニハ之カ準備ノ爲メ相當ノ日子ヲ要シ目前急切ナル戰費ノ供給ニ對シテハ到底此ノ如キ緩徐ナル手段ニ依ルヲ許ササルモノアルヲ以テ先以テ消費税ヲ執行セムトシタルモ消費税ニ在リテハ其ノ税額ニ於テ相當ノ程度ヲ超フルコト難シ若シ高率ノ課税ヲ爲サムカ現在鹽業者ノ業態ニ於テ其ノ負擔ヲ消費者ニ轉嫁スルコト至難ニシテ鹽業者ハ之カ苦痛ニ堪ヘス自然鹽業廢滅ノ虞ナシトセス依テ多額ノ收入ヲ得ムトスル今日ニ於テハ專賣ヲ採ルノ外ナキナリ之レ一面ニハ近來萎靡衰頹セル斯業ヲ保護シ鹽質改良ノ一方法トモ爲リ鹽業發展ノ機運ヲ促スノ利アリテ確實ナル收入ヲ舉クルコトヲ得ヘキヲ以テ時期ニ應シ專賣ニ改メムト期シタルモノニシテ別ニ鹽專賣法案ヲ閣議ニ提出シタリシモ前記セル如ク鹽消費税ハ非常特別税法中ヨリ削除ニ決シ本期議會ニ於テハ更ニ財源ヲ要セサルコトト爲リシ爲メ專賣法案ハ帝國議會ニ提出スルニ至ラス廢案ニ付シタリ當時專賣案ノ計畫ニ依レハ每一石收入益大約一圓ノ見當ヲ以テ賠償金ニ對シ其ノ八割ヲ加算シテ賣渡スモノト豫算シ事業費及特別會計資本利子等ヲ控除シ差引純收入四百二十七萬餘圓ヲ得ルノ計算ナリシナリ

是ヨリ先鹽消費税案ノ帝國議會ニ提出セララルヤ鹽製造業者及鹽取引業者等ハ直接ニ及ホス利害關係ノ甚大ナルヲ以テ同業者間ニ於テ之カ贊否ヲ議シ或ハ陳情書ヲ提出シ或ハ又總代ヲ上京セシムル等各其ノ主張ノ貫徹ニ努ムルニ至リタリ

鹽業關係者ヲ以テ組織セル大日本鹽業協會ハ會長村田保ノ名ヲ以テ鹽ニ消費税ヲ課スルヲ不可トシ專賣施行ノ建議ヲ爲シタリ

軍事ニ多額ノ資金ヲ要スルノ今日ニ在テ政府カ確實ニシテ安固ナル財源ヲ得ルハ焦眉ノ急務タリ而シテ之カ財源トシテハ其ノ途尠ナカラサルヘシト雖食鹽ニ課税スルハ極メテ確實安固ニシテ而カモ最モ普通ナル方法ノ一トス凡ソ各人カ消費スル鹽ノ數量ハ自ラ一定シテ變動セズ且甚タ僅少ナルカ故ニ税金負擔ノ額モ亦頗ル輕微ナリ既ニ歐米諸國ニ於テハ鹽稅ヲ以テ國庫歲入ノ一トスルコト其ノ實例多シ即チ獨逸佛蘭西和蘭ハ消費稅ヲ採リ墺地利伊太利希臘土耳其「チユニス」東印度及支那ノ諸國ハ專賣法ヲ行ヘリ此等ノ諸國カ每年收入スル所ノ金額ハ少キモ三十萬圓多キハ三千餘萬圓ノ上ニ出ツ洵ニ國庫歲入ノ一大財源タルコトヲ徵スルニ足ル今ヤ軍國多事ノ秋ニ方テ之ヲ利用スルハ殊ニ得策ナリト信ス

政府ハ此ノ課税ヲ爲スニ於テ消費稅ニ依ル可キカ專賣法ニ依ル可キカ二者擇一ノ上ニ於テ國家民衆ノ利益ハ其ノ孰レニ在ルヤ是レ大ニ研究ヲ要スル問題ニシテ今其ノ得失ヲ商量スルニ先チ左記ノ二項ヲ記臆スルコト尤モ喫緊ナリトス

一 本邦内地ノ鹽田ハ一府三十縣ニ跨リ一町村ニシテ有スル鹽田ノ面積狹キハ四五段歩ノモノアルモ廣キハ數百町步ニ達ス而シテ此ノ業ニ從フ者亦甚タ少ナカラス

二 鹽ハ一年晝夜ヲ分タス之ヲ製造スルモノニシテ或ル期間ヲ限リテ之ヲ製造スル地方ハ極テ稀ナリ

左ニ消費稅及專賣ニ伴ヘル利害得失ヲ擧ゲムトス

消費稅

一 鹽ニ消費稅ヲ賦課スルハ決シテ簡單ナル方法ニ依リテ施行セラルヘキモノニ非ス必スヤ複雑ナル手數尠少ナラサル費用ヲ要スヘシ若シ強テ簡單ナル作業ト尠少ナル費用トヲ以テセムカ施設完全ナラサルカ爲メニ鹽ノ製造者ヨリ徵稅スルニハ脫稅者ヲ防ク能ハス鹽

二
ノ販賣者ヨリ徵稅スルニハ製造者ト販賣者ノ中間ニ於テ脫稅者ノ續出スルヲ防ク能ハス
隨テ製造者若ハ販賣者ニ對シ脫稅又ハ密賣ヲ防キテ公平ナル徵稅ヲ爲スコト能ハス管ニ
公平ヲ缺ケル課稅法タルノミナラス徵稅費ヲ多ク支出スル割合ニ收入スル稅額却テ僅少
ナルヘシ

三
消費稅ヲ課スルトキハ鹽ノ賣買價格自然騰貴スルカ故ニ需要者トシテハ内地鹽ヨリ良質
ナル外國鹽若ハ臺灣鹽ヲ多ク需要スルニ至ルハ勢ノ免ルヘカラサル所現時ノ價格ニ於テ
スラ尙且外鹽又ハ臺灣鹽ヲ嗜好スルノ實況タリサレハ消費稅ハ内地鹽業ヲシテ彼ノ二者ニ
侵害セラルルヲ促進スルモノニシテ其ノ侵害ノ程度ハ外鹽ノ輸入ト臺灣鹽ノ移入額トニ正
比例スヘシ此ノ如クシテ外鹽並臺灣鹽ノ需要増加スルニ至レハ劇烈ナル競爭ヲ惹起シ其ノ
極内地及臺灣鹽業ノ蒙ムル損害ハ頗ル大ナルノミナラス延テ國家ノ大損失トナルヘシ論
者曰内地需要ノ鹽ハ必スシモ内鹽ニ賴ルノ要ナシ臺灣鹽ト云ヒ外鹽ト云ヒ苟モ其ノ質良好
其ノ價低廉ナルモノアレハ之ヲ用フヘシ奚ソ其ノ產地ノ内外ナルヲ問ハムヤト其ノ論寔
ニ可ナリ然レトモ鹽ノ如キ人生一日モ缺クヘカラサルモノニ在リテハ專ラ内地產出ノ物
料ヲ使用スルコトノ必要ナルハ現ニ近日敵艦一タヒ我北海ニ來ルヤ僅ニ六時間ヲ以テ航
行スルコトヲ得テ而カモ要塞防備ノ儼然タル青森函館間ノ交通スラ忽チ杜絶セシニ非ス
ヤ若シ内地鹽田全滅シテ一ニ需要ヲ臺灣鹽ニ仰カサルヲ得サルニ際シ敵艦臺灣附近ニ游弋
セハ此ノ航路ハ直ニ杜絶スルニ至ラム此ノ時ニ當リ食鹽ハ何レノ地ヨリ供給セラレヘキ
ヤ之カ爲ニ内地五千萬ノ民衆ハ啗ニ健康ヲ損傷スルノミナラス意氣沮喪シテ國家ノ大事
ニ赴ク能ハサラム故ニ内地ノ鹽田ハ自然ノ趨向ニ委セテ吾人ノ生命タル鹽ヲ内地以外ニ
求ムル如キハ實ニ危險千萬ト謂ハサルヘカラス之ニ徵スルモ内地鹽田ヲ維持シ其ノ業ノ

存立ヲ圖ルハ國家百年ノ大計トシテ極テ緊切ナルハ多言ヲ須ヒスシテ明カナリ

四

假ニ鹽ノ生産者カ鹽ヲ賣渡スニ先チ課税スルモノトセハ製鹽者ハ即チ納税ノ義務ヲ負ハサルヘカラス資財ニ乏シキ生産者ニ在リテハ眞ニ痛苦ニ勝ヘサルヘシ且ヤ鹽價騰貴ノ結果トシテ鹽商ニ於テモ目前ノ所要以外ニ仕入ヲ爲ス能ハス自然賣レ口澁滯シ資本ノ流通ヲ妨ケ薄資ナル多數當業者ノ到底耐ヘ得ヘキ所ニ非サルナリ

五

然ラハ鹽商ヲシテ納税セシムトセムカ多數ノ鹽業者カ多數ノ鹽商ニ賣渡スノ間ニ於テ脱税盜賣ノ弊ヲ防遏スルコト決シテ容易ノ業ニ非サルナリ

六

故ニ今日消費税ヲ實行スルトキハ濫ニ巨額ノ徵稅費ヲ支消シテ少額ノ收入ヲ得ルニ止マリ當業者ヲ苦メルト同時ニ最多數ノ需要者ヲ苦メ其ノ極國產ヲモ失フカ如キ經濟上頗ル不利益ナル結果ヲ見ルニ了ラムノミ是レ豈ニ安全ニシテ普通ナル課稅法ト謂フヲ得ヘケムヤ

專賣法

一

專賣法ハ製鹽者カ生産スル鹽ノ額ヲ定メテ之ヲ製造セシメ政府ニ於テ之ヲ買收シテ更ニ需要者ニ賣渡スモノナリ故ニ祕密製造盜賣等ヲ防クカ爲メニ相當ナル取締ヲ爲スコトヲ要ス隨テ官衙ヲ設ケ役員ヲ使用スルノ必要アリ

二

隨テ此等ニ要スル費用ハ相當ノ支出ヲ爲スコトヲ避ク可カラス然レトモ其ノ結果トシテ密造盜賣脱税ノ弊ヲ防遏スルコトヲ得テ優ニ多額ノ收入ヲ得ルカ故ニ假令消費稅施行ニ比シ若干ノ多費ヲ要スルトモ些ノ憂虞ヲ須フル所有ル莫シ

三

政府ハ生産鹽額ヲ定メテ當業者ヲシテ之ヲ生産セシメ悉ク之ヲ買收スルモノナルカ故ニ當業者ハ冗多ナル資金ヲ支出シテ操業スルノ要ナク隨テ製品ノ賣レ殘モ無ク最モ安固ナ

リ

四 此ノ如ク政府カ當業者ヨリ鹽ヲ買收スルニ當リテハ品質ニ依リ買收價格ヲ定ムルヲ以テ自然鹽質ノ改善ヲ促シ包裝モ亦一定シテ鹽粒ノ脫漏ヲ防キ隨テ甄別ニ便ニシテ盜賣等ノ制裁ヲ十分ニ附スルコトヲ得

五 隨テ製鹽業者カ利益スル所少カラス其ノ結果一般需要者ヲ利スル所多大ナルヘシ
六 專賣ヲ行フニ於テハ政府自ラ營業シテ其ノ利ヲ收ムルモノナルカ故ニ外國鹽ニ對シテハ輸入禁止的重稅ヲ課スルカ伊太利、埃地利此ノ制ヲ採ル若ハ外國鹽ヲ購買セサルコト

七 此ノ如クナルトキハ外鹽ノ侵害ヲ防クノミナラス内地ノ鹽業ハ大ニ改善セラレ永ク鹽田ヲモ維持シ得テ交戰時ノ如ク非常ナル場合ニ於テモ決シテ鹽ノ需給ノ均衡ヲ保チ民衆ヲ

シテ痛苦ヲ感セシメサルコトヲ得

八 專賣ヲ行フニハ臺灣鹽ヲモ同時ニ一政令ノ下ニ支配シ得ヘケレハ内地臺灣兩地ノ鹽業ヲ融和シ相互併進スルノ利益アリ

九 專賣ヲ行フニ方リ前各項ニ述フルカ如キ手段順序ヲ要スト雖今ヤ軍國多事ノ際ナルカ故ニ百事最モ簡約ヲ尙ヒ失費ヲ節略セサルヘカラサルヲ以テ官衙ハ從來ノ專賣局及支局ノ類ヲ多ク供用シ必要止ムヲ得サルモノノミヲ極テ節略ニ新設シ鹽ノ貯藏用倉庫ノ如キモ鹽業者私有ノモノヲ借入レ殊ニ役員ノ如キモ主トシテ從來ノ專賣局員ヲ充用シ萬已ムヲ得サルモノノ外ハ新ニ任用セサルヘシ此ノ如クムハ敢テ多額ノ費金ヲ要セスシテ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得ヘシ而シテ後平和克復ノ日ニ於テ適當ナル設備ヲ爲ス何ヲ晚シト謂ハムヤ

之ヲ要スルニ鹽專賣法ハ國庫ノ一大財源ニシテ品質ヲ改善シ需給兩者各其ノ利益ヲ享有シ國

産ノ維持ヲ圖リ延テ之カ發達ヲ資ケ而カモ内地臺灣ノ斯業ヲシテ融和併進セシムルノ利便アリ獨戰時ノ急要ニ應スルノミニ非ス平時恆久産業保護ノ政策ニモ適合セリ矧ムヤ其ノ費金ノ如キモ消費稅法ヲ施行スルト敢テ徑庭アルコト無ク而カモ最モ確實安固ニ之ヲ徵收シ得ルニ於テヲヤ故ヲ以テ此ノ際ニ向テ政府カ鹽稅附課ノ法ヲ採ルニ當リテハ斷シテ消費稅法ヲ排除シ專賣法ヲ採用セラレムコトヲ望ム若シ然ラスシテ強テ消費稅法ヲ採ラルル如キコトアラハ則チ一般鹽業者ハ之ヲ贊襄スルコト能ハサルノ已ムヲ得サルモノ有ラムトス是レ今ノ時ニ在テ最モ大ニ政府ノ明察ヲ煩ハササル可カラサル所ナリトス

右建議ス

大阪商業會議所モ亦其ノ決議ヲ以テ戰時財政計畫ニ對スル意見書ヲ提出シ非常特別稅トシテ多數ノ稅目ニ變革ヲ來スノ不利ナルコトヲ唱ヘ急卒ニ新稅ヲ制定實施スルノ不得策ナルコトヲ論シ一時增收ノ爲メニ鹽稅ヲ起スノ不可ナルコトヲ開陳シ東京鹽問屋組合ニ在リテハ左ノ理由ヲ擧ケテ同業者間ニ激シ消費稅反對ノ運動ヲ開始スルニ至レリ

一 鹽ハ人生最必要品タルト共ニ貧富ヲ問ハス一定ノ所要量アリ課稅其ノ他ノ方法ハ以テ價格ヲ高ムル結果細民ニ最大苦痛ヲ蒙ラシメ課稅公平ノ原則ニ背反ス

二 勞働者ノ鹽ヲ多量ニ攝取スルハ生理上當然ノ結果ナリ課稅ノ爲メ價格ヲ高ムルハ人頭稅ヲ課スルト同一ニテ人道ヲ無視スルモノナリ

三 鹽稅ハ細民殊ニ勞働者ニ對スル打撃ナルヲ以テ自然勞銀ヲ高ムルノ惡果ヲ生ス之レ即チ戰時財政ヲ以テ戰時經濟ヲ蹂躪スルモノト云フヘシ

四 酒類專賣法ハ露國今日ノ最大財源ナリト雖之ヲ創始スルニ當リ尙口實ヲ飲酒ノ害惡抑制ニ籍ル然ルニ單ニ徵稅ノ目的ノミヲ以テ鹽稅ヲ課スルハ露國以上ノ壓制ヲ行フモノナリ

五 國家財政ノ必要上何事ヲモ爲シ得ヘシト云フ者アラムモ鹽ニシテ專賣ヲ爲シ得ヘシトセ

ハ米穀ノ專賣ヲ行フヘシ一案ニシテ一億ニ近キ收入ヲ得ヘキナリ然ルニ米ヲ措キテ之ヲ問ハサルハ流石ニ人道ヲ重ンスルカ爲メナルヘシ鹽ト米トハ生活ノ必要上何ノ撰フ所カアラム

六 一億ノ公債ニ對スル應募額ハ五億ニ近キ實ヲ見タリ何ヲ苦ミテ僅ニ二百八十萬圓ニ過キサル鹽稅ヲ課セムトスルヤ公債ヲ主眼ノ財源ト爲スハ戰費ノ通則ナリ本道ヲ捨テテ徑路ニ奔ルモノナリ

七 鹽稅ノ如キハ戰時經濟ト戰後經濟トヲ混同スルモノニシテ大早計左支右梧ノ甚シキモノナリ

之ヲ要スルニ内地產鹽カ近來外鹽ノ競争ニ對シ不利益ノ地位ニ立テルコトハ前款記述ノ狀況ニ在ルヲ以テ更ニ消費稅ノ賦課ヲ見ルニ至テハ内地製鹽業ハ一層ノ困難ヲ加フル事情ナキニ非サルヲ以テ製鹽業者トシテハ消費稅ニ反對シ鹽問屋其ノ他賣買ニ從事スル商人トシテモ取引上ニ及ホス影響少ナカラスシテ課稅ノ爲メ鹽價昂上シ資金運轉ノ利ヲ減殺シ且又投資回收上ニ於ケル危險等ノ顧念スヘキモノアリテ之レ亦課稅反對ヲ唱ヘ共ニ之ヲ非トセルモ前者ハ寧口專賣トシテ其ノ保護ニ依リ鹽業ノ發展ヲ期セムコトヲ希望シ後者ハ絶對ニ鹽ニ對シ收入ヲ得ムトスルヲ排斥シタリ而シテ鹽消費稅案ハ遂ニ帝國議會ニ於テ否決トナリタリ然レトモ政府ニ於テハ時局ノ開展如何ニ依リテハ專賣ト爲サムトスルノ意向アルニ依リ鹽販賣業者ハ鹽專賣反對同盟會ナルモノヲ組織シ各地方ニ於ケル主ナル同業者ニ對シ左ノ趣意書ヲ配付シ贊同ヲ勸誘スルニ至リタリ

政費膨脹シテ財用年一年ヨリモ急ナルノ時ニ當リ國運ヲ賭シテ戰役ニ從フノ機ニ會ス此ニ於

テカ人生ノ最必要品タル鹽ノ如キモ亦一箇ノ財源トシテ之ニ消費稅ヲ新ニ課スルノ外更ニ政府專賣ノ發案ヲ見ルニ至レリ今ヤ賢明ナル衆議院各派ノ讜論ハ大度ナル政府ノ反省ヲ促シ兩案ヲ舉ケテ之ヲ戰時經營ノ計畫中ヨリ除斥セリト雖斯業ノ前途ハ未タ俄ニ今日ノ一段落ニ安シスル能ハサルモノアリ

蓋シ鹽業ヲ官府ニ占有スルノ内議ハ其ノ由テ萌セル所ノモノ久シク突如今日ニ始マレルニ非ス況ンヤ其ノ計畫タルヤ單ニ之ヲ政府歲入ノ増加ニ便スト云フニ止マラスシテ品質ノ改良統一及價格ノ整理ニ便スルノ好名義ヲモ負ヒ加フルニ小部分ノ當業者中ニハ一時一個ノ便宜ノ爲ニ却テ之ニ迎合セムトスルノ傾向ナキニ非サルヲヤ他日舉國活動ノ目的ヲ達シテ國光大ニ發揚スルト同時ニ國用益多端ヲ加フルノ時ニ當リ今日ノ提案カ土ヲ捲テ來ル亦未タ知ルヘカラサルモノアリ國家經濟ノ大局上斯業ヲ民間ニ留保シ之カ進歩發達ニ努ムルヲ以テ國家ノ最大利益ナリト確信スル吾人同志ハ益前程ニ戒心シ衆力ヲ合ハセテ斯業ヲ捍護セサルヘカラサルナリ惟フニ舉國時局ノ急ニ焦慮シ刻下直接ノ最大目的ヲ達セムカ爲ニ其ノ手段ヲ問ハサルノ狀アルハ吾人亦深ク國家ノ爲ニ之ヲ諒トスル所ナリト雖國用ハ國民之ヲ負擔セサルヘカラサルト同時ニ國家ハ國民ノ實力ヲ増大セムカ爲ニ民業ノ發展ニ努メサルヘカラス然ルニ民業ヲ官府ニ收メ生民ヲシテ其ノ業ニ聊ンセシメサルカ如キハ國家經濟ノ根本ヲ紊ルモノニシテ健全ナル國運ノ伸暢ヲ圖ル所以ニ非ス吾人固ヨリ帝國ト隆替存亡ヲ共ニスルノ誠衷ニ於テ敢テ人後ニ落チスト雖國家ハ決シテ經濟政策ノ根本ヲ無視スル迄ニ窮極セル特絶ノ危境ニ瀕スルニ非ス戰時財政ノ必要トシテハ別ニ之ヲ企劃スヘキ十分ノ餘裕アリ此ノ坦々タル王道ヲ捨テテ彼ノ險怪ナル徑路ヲ執ルハ國家ノ爲ニ斷シテ默止スヘカラサル危道ナリ戰時ノ今日且然リ況ンヤ之ヲ戰後ノ經營ニ於テスルヲヤ故ニ吾人ハ國家ノ爲メニ飽クマテ斯業ヲ民間ニ留保

セムコトヲ期スルト同時ニ吾人同志ノ團結ヲ堅クシ各地相呼應シテ吾人ノ主張ヲ徹底スルニ努メ民業ノ大主義ヲシテ一點ノ懸念ナキニ至ラシメムトス同憂ノ士乞フ來リテ吾人ト事ヲ共ニセラレムコトヲ

第三款 鹽專賣ノ計畫

鹽ニ對シ課稅ヲ爲シ又ハ鹽ノ專賣ヲ爲セルハ海外諸國ニ於テ其ノ事例乏シカラス然ルニ鹽其ノ物カ人世必需品タルノ故ヲ以テ之ニ對シ國庫ノ收入ヲ圖ルハ(一)貧富一樣ノ負擔トナリ義務ト負擔方トノ權衡ヲ得サルコト(二)各人一般ニ其ノ生活費ヲ增加スルコト(三)生産費ノ增加ヲ免カレサルコト(四)對外貿易ニ於テ競争上不利益ノ地位ニ立ツヘキコト等種々ノ不利益多キニ依リ之ヲ非トスル者アルモ又一面ニハ(一)各人ノ消費高極メテ少量ニシテ之ニ對スル負擔ハ甚シキ苦痛ヲ與ヘサルコト(二)財政上ノ便益トシテ其ノ收入ヲ得ルコト確實ナルコト等ノ利アリテ古來財政家カ之ニ依リ歲入増加ヲ圖リタル所以蓋シ此ニアルヘク必スシモ直ニ之ヲ非認スヘキニ非サルナリ大藏省主稅局ニ於テハ此ノ見ヲ持シ明治三十五年以來財源調査トシテ鹽ニ對スル調査研究ヲ爲シツツアリ農商務省當局ニ在リテハ之ヲ以テ專賣ト爲シ鹽業保護ノ一案ト爲セルコトハ前章述フル處ノ如シ此ノ時ニ方リ東洋ノ平和忽チ破レ日露隙ヲ構フルニ至リ愈々歲入増加ヲ要スルニ至リシヲ以テ鹽ニ對シ收入ヲ求ムルヲ適當ト認メ其ノ急需ニ應スル爲メ課稅ヲ採ラムトシタルハ前記セルカ如シ

然ルニ帝國議會議決ノ結果課稅收入ニ於テ必要ナキニ至リタルヲ以テ竟ニ課稅ヲ見ルニ至ラサリシモ戰局ハ次第ニ開展シテ次年度ニ於ケル軍費ハ少クトモ五億萬圓内外ヲ豫想セサルヘカラスルニ至リ必スヤ新ニ財源ヲ求ムルノ要アリテ鹽ニ對シ收入ヲ求メサルヘカラサルニ至レリ然